

日本地質学会第 119 年学術大会 (2012 大阪) 講演プログラム (口頭)

■ 9 月 15 日 (土) 午前

会場	第 1 会場	第 2 会場	第 3 会場
	R5. 地域地質・地域層序	R20. 第四紀地質	T2. プレート収束境界の堆積盆形成：構造・堆積作用・テクトニクス
	座長：内野隆之 (1-4), 先山 徹 (5-8), 菅森義晃 (9-11)	座長：公文富士夫 (1, 5, 11), 内山 高 (2-4), 渡邊正巳 (6-8), 七山 太 (9-10)	座長：伊藤康人 (1-6), 高野 修 (7-11)
9:00	<p>9:00 R5-O-1 古第三系・根室層群における渦鞭毛藻シスト化石層序と古一次生産史. 林 圭一・西 弘嗣・高嶋礼詩</p> <p>9:15 R5-O-2 南部北上帯, 下部ペルム系坂本沢層のフズリナ群集. 上野勝美・新谷友彦・田沢純一</p> <p>9:30 R5-O-3 相馬地方相馬中村層群富沢層に胚胎する相馬珪砂鉱床の形成過程. 松原義雄・有馬 真</p> <p>9:45 R5-O-4 日立古生層層序の再考と西堂平層の地史. 田切美智雄・堀江憲路・足立達朗・廣井美邦</p> <p>10:00 R5-O-5 混濁流がつくるスランプもどき堆積物 (スランプもどきタービダイト) とは何か? また, その形成メカニズムとは? 徳橋秀一</p> <p>10:15 R5-O-6 神奈川県東部に分布する中新-鮮新統“鎌倉層群”の提唱. 蟹江康光・鈴木 進・柴田健一郎</p> <p>10:30 R5-O-7 超巨大地震 (M9) の遠地誘発地震による長野県栄村の被害と浅部地下構造. 宮田隆夫・大塚 勉</p> <p>10:45 R5-O-8 早月川上流地域に分布する飛騨変成岩類および深成岩類の SHRIMP U-Pb 年代. 高橋 浩・Cho Deung-Lyong・毛 健仁</p> <p>11:00 R5-O-9 滋賀県高島市饗庭野の傍シヶ谷層の再検討と新旭層の提案. 石田志朗・服部 昇・三矢信昭・中島 健・里口保文</p> <p>11:15 R5-O-10 山陰海岸ジオパーク地域の第三紀北但層群における貫入岩類の K-Ar 年代と層序の再検討. 先山 徹・松原典孝</p> <p>11:30 R5-O-11 帝釈石灰岩産前期石炭紀および前期ペルム紀アンモノイド. 永広昌之・西川 功・西川 治</p>	<p>9:00 R20-O-1 富士山北斜面 3D 測量による土砂移動観測. 内山 高・中野隆志・安田泰輔・小林亜由美・笠井明徳・奥水達司・堀内太一</p> <p>9:15 R20-O-2 八ヶ岳及び浅間山起源の火山灰土壌が有する汚染水浄化能特性の検討. 太田萌美・宮田昌幸・北瀬 (村上) 晶子・香村一夫</p> <p>9:30 R20-O-3 最終間氷期における赤色土の生成上限 - 新潟県と青森県の事例から - . 仲川隆夫</p> <p>9:45 R20-O-4 東北地方北部に分布する火山灰土壌が有する重金属吸着能の評価. 野口周平・香村一夫・栗原正憲</p> <p>10:00 R20-O-5 山陰地方における完新世の植生変遷. 渡邊正巳</p> <p>10:15 R20-O-6 下北沖コアの花粉記録を用いた過去 12 万年間の古気候変動復元 (予報). 菅谷真奈美・岡田 誠・奥田昌明</p> <p>10:30 R20-O-7 上高地における微動アレー探査 (空間自己相関法) により明らかとなった古梓川埋積谷地形と潜在活断層. 原山 智・松岡達郎・林 久夫・水落幸広・棚瀬充史・河合小百合</p> <p>10:45 R20-O-8 吉野ボーリングコアから推定した完新世における大阪湾地域の海況変動. 廣瀬孝太郎・吉田広人・服部まやこ・入月俊明・三田村宗樹</p> <p>11:00 R20-O-9 静岡平野・清水平野の完新統における津波堆積物. 北村晃寿・小林小夏・藤原 治</p> <p>11:15 R20-O-10 北海道奥尻島の完新世段丘に認められた津波堆積物. 川上源太郎・平川一臣・田近 淳・廣瀬 亘・深見浩司・高橋 良</p> <p>11:30 R20-O-11 北海道東部, 風蓮湖バリアーシステムの地形発達史から読み解く過去 5500 年間の海面変動と地殻変動. 七山 太・重野聖之・石川 智・渡辺和明・池田保夫</p>	<p>9:00 T2-O-2 堆積盆形成過程の定量的理解のための地質断面復元法: 国内炭化水素賦存堆積盆の例. 江川浩輔・高野 修・後藤秀作・鈴木清史・成田英夫</p> <p>9:15 T2-O-1 3 次元地盤構造データに基づいたバランス法解析から推定した上町断層帯の地下深部形状. 木村治夫・堀川晴央・末廣匡基</p> <p>9:30 T2-O-3 中国地方中新統の珪質微化石の続成変質と地史. 竹村厚司・西村年晴・竹村静夫・黒田明彦・小郷幸恵・上中智加・野崎誠二・三宅誠</p> <p>9:45 T2-O-4 常磐沖堆積盆地における前期中新世の埋積過程: バリア島-ラグーンシステムの発達様式. 荒戸裕之・保柳康一・小林由季・関めぐみ・中村めぐみ</p> <p>10:00 T2-O-5 東北日本弧の後期新生代テクトニックイベント: 弧内堆積盆発達史からの復元. 中嶋 健</p> <p>10:15 T2-O-6 三陸沖～道央～道北古第三系前弧～横ずれ堆積盆群の形成プロセス・形態変遷と堆積システム. 高野 修・伊藤康人・楠本成寿</p> <p>10:30 T2-O-7 北海道中央部における中新世フォアランド堆積盆: 層序と堆積盆テクトニクス. 川上源太郎</p> <p>10:45 T2-O-8 (招待) 断層が累進的に発生する構造帯における横ずれ断層端部での堆積盆地形成の数値モデリング. 楠本成寿・伊藤康人・高野修・玉置真知子</p> <p>11:00 T2-O-9 中央構造線両端部の後期新生代同時堆積盆形成: 横ずれ断層末端の構造形態. 伊藤康人・楠本成寿・竹村恵二</p> <p>11:15 T2-O-10 軸方向の土砂供給と堆積中心の継続的移動をともなう堆積盆の発達条件について. 野田 篤</p> <p>11:30 T2-O-11 後期新生代中央日本の島嶼衝突帯における堆積盆の形成と進化をもたらした構造過程. 竹内 章</p>

※講演番号は, シンポジウム (S), トピックセッション (T), レギュラーセッション (R), 国際ワークショップ (W) のそれぞれに, 口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています.
 ※講演要旨とプログラムとで発表題目や氏名が異なっている場合, 講演要旨を正しいものとします. ※太字は代表発表者です.

日本地質学会第 119 年学術大会 (2012 大阪) 講演プログラム (口頭)

■ 9 月 15 日 (土) 午前

会場	第 4 会場	第 5 会場	第 6 会場
	T9. 地殻流体のダイナミズム その 2	T6. 顕生代の生物多様性変化 / 減少のパターンと要因	R2. 岩石・鉱物・鉱床学一般
	座長: 岡本和明 (1-4)	座長: 小宮 剛 (1-2, 4-6), 磯崎行雄 (3, 7-11)	座長: 石川 晃 (1-4), 山元正継 (5-8)
9:00	10:45 T9-O-1 ザクロ石の成長と反応組織から読み取る高圧エクロジャイト (北パキスタンのカガンバレー) の変成過程. レーマン ハフィーズウル・山本啓司・秦 圭治郎	9:00 T6-O-1 顕生代の生物多様性変遷史: 絶滅と放散. 磯崎行雄	9:30 R2-O-1 男鹿半島寒風火山に産する同源および異質苦鉄質捕獲岩. 山元正継・林 信太郎・近藤 梓・業田顕行・緒方武幸・笹沼貴弘・三森俊亮
	11:00 T9-O-2 長石多結晶体への水の導入と塑性変形の促進. 福田惇一・武藤 潤・長濱裕幸	9:15 T6-O-2 (招待) Triggers for the Cambrian explosion: hypotheses and problems. Zhang, X.L.・Shu, D.G.・Han, J.・Zhang, Z.F.・Liu, J.N.・Fu, D.J.	9:45 R2-O-2 オマーンオフィオライト北部の珪長質深成岩類のジルコンU-Pb年代について. 土谷信高・中村一史・武田朋代・谷 健一郎・足立達郎・中野伸彦・小山内康人・足立佳子・宮下純夫
	11:15 T9-O-3 中央構造線ボーリングコアにおける変質鉱物の産状及び分布—鉱物組成データに対する統計解析の結果より. 田中伸明・藤本光一郎・重松紀生	9:30 T6-O-3 リン酸塩岩の成因と後生動物活動. 小宮 剛	10:00 R2-O-3 Carbonatite and calcite-bearing phlogopitite-pyroxenite intrusions along the lithospheric shear zone in the Proterozoic southern Madagascar: Geochemical and carbon/oxygen isotopic characteristics. Ranaivoson M. A., Arima, M., Nguyen, T. T. and Wada, H.
	11:30 T9-O-4 断層帯における熱水変質作用の特徴. 藤本光一郎	10:00 T6-O-5 南中国澄江地域におけるカンブリア紀最初期のリン酸塩岩堆積と初期硬骨格動物多様化. 佐藤友彦・磯崎行雄・小宮 剛・田畑美幸・吉田尚弘・可見智美・舒徳干	10:15 R2-O-4 みかぶ帯のMgに富む火山岩の成因について. 市山祐司・石渡 明・木村純一・仙田量子・宮本 毅
		10:15 T6-O-6 放射光X線micro-CT分析を用いた初期カンブリア紀微化石の三次元構造解析: 初期後生動物進化解読に向けて. 中尾泰斗・韓 健・岡田吉弘・佐藤友彦・上杉健太郎・星野真人・小宮 剛	10:30 R2-O-5 秋吉帯石灰岩層群の基盤からのスーパーブルーム型アルカリ安山岩の発見. 木村光佑・早坂康隆・山田千愛・勝部亜矢
		10:30 T6-O-7 古生物の系統的多様度による形態的多様性の標準化. 生形貴男	10:45 R2-O-6 オントンジャワ海台下のリソスフェア形成—クラトン形成におけるブルームモデルとの関連性について—. 石川 晃・Dale Christopher W.・Pearson Graham D.
		10:45 T6-O-8 超海洋中央部におけるG-L (ペルム紀中期-後期) 境界前後の生層序・化学層序 ($^{87}\text{Sr}/^{86}\text{Sr}$, $\delta^{13}\text{C}_{\text{carb}}$): 赤坂石灰岩の例. 小福田大輔・磯崎行雄・可見智美・石村豊穂・猪郷久義	11:00 R2-O-7 モホ不連続面の定義におけるいくつかの問題点. 前田仁一郎
		11:00 T6-O-9 南中国四川省峨辺地域の中・上部ペルム系の岩相層序およびSr同位体層序. 蓋盛拓海・磯崎行雄・姚 建新	11:15 R2-O-8 二種の衝突構造と海水衝突における炭素含有相の生成. 三浦保純
		11:15 T6-O-10 宮崎県高千穂町における海洋中央部礁石灰岩のSr層序. 西田昂広・磯崎行雄・可見智美	
		11:30 T6-O-11 地球生命の起源と進化を決定づけた初期条件. 丸山茂徳	

※講演番号は、シンポジウム (S)、トピックセッション (T)、レギュラーセッション (R)、国際ワークショップ (W) のそれぞれに、口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。
 ※講演要旨とプログラムとで発表題目や氏名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。 ※太字は代表発表者です。

日本地質学会第 119 年学術大会 (2012 大阪) 講演プログラム (口頭)

■ 9 月 15 日 (土) 午前

会場	第 7 会場	
	R13. 付加体	
	座長: 佐藤活志 (1-3), 川端訓代 (4-7)	
10:00	10:00	R13-O-1 熊野海盆直下の付加体の特徴 - NanTroSEIZE, Exp.319 ライザー掘削によるカッティングス試料を用いた解析. 川端訓代・坂口有人・斎藤実篤
	10:15	R13-O-2 深度 2 - 4 km に沈み込んだ房総半島南部保田付加体の構造および付加関連断層. 山本由弦・千代延 俊・濱田洋平・福山繭子・亀田 純・山口はるか
	10:30	R13-O-3 古第三系牟婁付加体の注入砂岩脈. 鈴木博之
	10:45	R13-O-4 構造性メランジュ中の鉱物脈方位による古応力解析. 佐藤活志
	11:00	R13-O-5 赤石山地, 秩父帯・四万十帯の続成 - 弱変成度 - イライト結晶度による検討 -. 狩野謙一・伊藤圭太・高川朋子
	11:15	R13-O-6 ジュラ紀付加体犬山シーケンス砂岩のジルコン年代. 久田健一郎・Choi Taejin・Lee Yong Il・大野佳緒里・折橋裕二
	11:30	R13-O-7 尻屋崎地域に分布するジュラ紀付加体の碎屑物組成とその意義 - 特に砂岩について -. 木村 翔

■ MEMO ■

■ MEMO ■

(12)

※講演番号は, シンポジウム (S), トピックセッション (T), レギュラーセッション (R), 国際ワークショップ (W) のそれぞれに, 口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています.
 ※講演要旨とプログラムとで発表題目や氏名が異なっている場合, 講演要旨を正しいものとします. ※太字は代表発表者です.

日本地質学会第 119 年学術大会 (2012 大阪) 講演プログラム (口頭)

■ 9 月 15 日 (土) 午後

会場	第 1 会場	第 2 会場	第 4 会場
	R5. 地域地質・地域層序	R20. 第四紀地質	T9. 地殻流体のダイナミズム その 2
	座長: 松原典孝 (12-16)	座長: 公文富士夫 (12), 趙 哲済 (13-16)	座長: 福田惇一 (5-7), 竹下 徹 (8-9)
14:00	<p>14:00 R5-O-12 徳島県, 和泉層群中の衝上デュープレックスと伸張デュープレックス. 村田明広</p> <p>14:15 R5-O-13 大分県秩父帯 (小坂亜帯) 下部白亜系の衝上ナップ. 田中均・高橋 努・内田暁雄・三宅由洋・島田駿祐・赤星征典・福本祥大</p> <p>14:30 R5-O-14 熊本県八代山地に分布する物部川層群相当層と同時代の下部白亜系堆積物について. 三宅由洋・赤星征典・島田駿祐・高橋 努・田中 均</p> <p>14:45 R5-O-15 薩摩半島南部, 南九州市八瀬尾地域の蛇紋岩体と四万十帯白亜紀堆積岩類の高角境界. 斎藤 真・中川 充</p> <p>15:00 R5-O-16 アラブ首長国連邦アブダビ沖の前期アプチアン炭酸塩岩コア試料に記録された海洋無酸素事変 (OAE1a) 時におけるグローバル炭素循環と古海洋環境変遷. 山本和幸・石橋正敏・高柳栄子・浅原良浩・佐藤時幸・西 弘嗣・井龍康文</p>	<p>14:00 R20-O-12 大阪海岸低地, 長柄砂州中部の地形と古環境の変遷. 趙 哲済・中条武司・辻本裕也</p> <p>14:15 R20-O-13 中海における現生貝形虫の酸素同位体比と過去1700年間の古環境変遷. 石田 桂・増馬鉄朗・坂井三郎・瀬戸浩二</p> <p>14:30 R20-O-14 北海道網走湖における過去350年間の堆積環境の変化. 瀬戸浩二・岡崎裕子・中島広海・香月興太・園田 武・川尻敏文・渡部貴聴</p> <p>14:45 R20-O-15 中海における過去700年間の古環境変動と太陽活動による古気候変動. 岡崎裕子・瀬戸浩二</p> <p>15:00 R20-O-16 20110311津波襲来後の気仙沼湾の海中環境. 秋元和實・滝川 清・矢北孝一・外村隆臣・吉永 徹・吉岡昌雄・坂本 泉・滝野義幸</p>	<p>14:00 T9-O-5 流体の影響を被る複数の異なる変形機構と流体の変形に及ぼす効果の厳密な検討: 天然の観察と今後の展望. 竹下 徹・El-Fakharani Abdel-Hamid・渡部悠登・岡本あゆみ・中山貴仁・金子由実</p> <p>14:15 T9-O-6 Extensive dissolution-precipitation during the exhumation of the Sanbagawa metamorphic belt. Masaoki Uno・Hikaru Iwamori・Hitomi Nakamura</p> <p>14:30 T9-O-7 三波川帯白髪山蛇紋岩体の地質学および岩石学. 岡本和明・福村成哉</p> <p>14:45 T9-O-8 東北沖沈み込みプレート境界断層における地殻応力問題: 間隙圧の効果. 清水以知子・上原真一</p> <p>15:00 T9-O-9 (招待) 地震発生における地殻流体の役割 - 物理的 or 化学的? -. 飯尾能久</p>

※講演番号は, シンポジウム (S), トピックセッション (T), レギュラーセッション (R), 国際ワークショップ (W) のそれぞれに, 口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています.
 ※講演要旨とプログラムとで発表題目や氏名が異なっている場合, 講演要旨を正しいものとします. ※太字は代表発表者です.

日本地質学会第 119 年学術大会 (2012 大阪) 講演プログラム (口頭)

■ 9 月 15 日 (土) 午後

会場	第 5 会場	第 6 会場
	R17. 環境地質	R3. 噴火・火山発達史と噴出物
	座長：風岡 修 (1-4)	座長：長井雅史 (1-3), 和田穰隆 (4-5)
14:00	<p>14:00 R17-O-1 養老川中流域観測井の孔内地下水の温度 - 浅い観測井における深度方向の分布, 2012年1月6日測定-. 楠田 隆・古野邦雄・吉田 剛・香川 淳・榊 敏和・風岡 修・酒井 豊・加藤晶子・山本真理</p> <p>14:15 R17-O-2 地盤沈下・地下水位観測井における孔内地下水の深度方向の温度分布の測定. 古野邦雄・香川 淳・吉田 剛・風岡 修・楠田 隆・酒井 豊・加藤晶子・山本真理・風戸孝之</p> <p>14:30 R17-O-3 長野県下伊那郡竜東丘陵における地下水資源と地質構造発達史との関係. 富樫 均・堀 順一</p> <p>14:45 R17-O-4 応用地生態学は自然環境保全に貢献しているのか - 滋賀県山門水源の森の事例 -. 笠原 茂・藤本秀弘</p>	<p>14:00 R3-O-1 室生火砕流堆積物直下の凝灰岩および砂岩に含まれるガラス質岩片とその給源: 1. 記載岩石学的特徴. 和田穰隆・新正裕尚・矢野嗣典</p> <p>14:15 R3-O-2 室生火砕流堆積物直下の凝灰岩および砂岩に含まれるガラス質岩片とその給源: 2. 岩石化学的特徴. 新正裕尚・和田穰隆・矢野嗣典・外西奈津美・折橋裕二</p> <p>14:30 R3-O-3 南海トラフ海底堆積物コアのテフラ層からみた過去800万年間の爆発的火山噴火史. 長橋良隆・里口保文・IODP Exp. 333 乗船研究者</p> <p>14:45 R3-O-4 静岡県三島市に分布するHk-T (pfl) の岩片種解析. 山下浩之・笠間友博</p> <p>15:00 R3-O-5 北海道東部, 屈斜路火山の最大規模カルデラ形成噴火 (KpIV) の噴火推移とマグマプロセス. 長谷川 健・松本亜希子・中川光弘</p>

■ MEMO ■

※講演番号は, シンポジウム (S), トピックセッション (T), レギュラーセッション (R), 国際ワークショップ (W) のそれぞれに, 口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています.
 ※講演要旨とプログラムとで発表題目や氏名が異なっている場合, 講演要旨を正しいものとします. ※太字は代表発表者です.